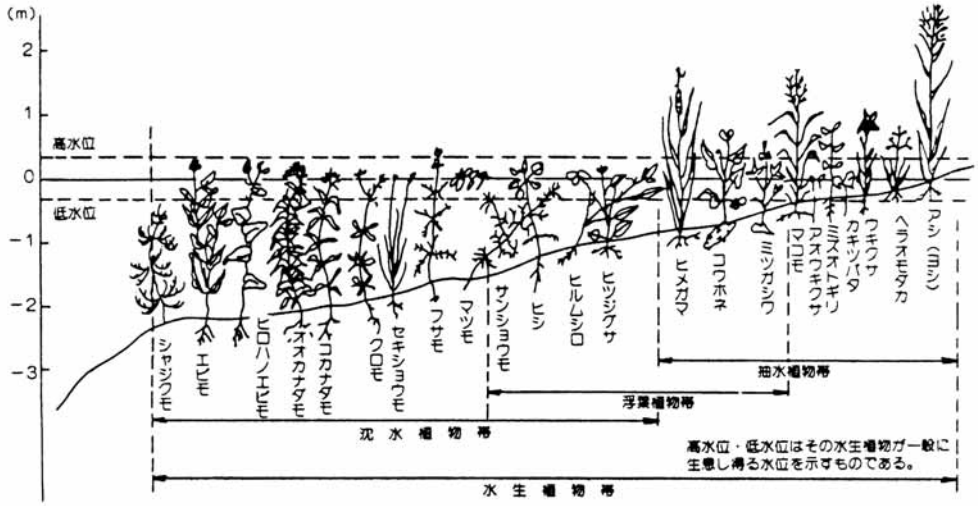
1. 植物

(1) 水生植物

琵琶湖で現在までに確認されている水生植物は、約40種である。特に琵琶湖固有種とされているサンネンモ、ネジレモは豊富な群落を形成しているが、コカナダモは減少傾向にあり、南湖などは在来種が大量繁茂している。

水生植物は、干上がることもあるような沿岸に生育する抽水植物、比較的水深が浅い沿岸に生育する浮葉植物、少し深い湖中に生育する沈水植物の3つに分類される。琵琶湖でみられるものとしては、抽水植物ではヨシ、マコモ、ヒメガマ、浮葉植物ではヒシ、ハス、沈水植物ではオオカナダモ、クロモ、センニンモ、ホザキノフサモ、ミズヒキなどがある。



【図４－１　水生植物の植物分布】

出典：近畿地方建設局・水資源開発公団編「淡海よ永遠に」